

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
実社会対応プログラム最終評価結果表

課題	人口減少地域社会における安心しうるケア・システムの構築と生活基盤の整備
研究テーマ名	地域社会における生活基盤の持続可能性指標の開発
研究代表者	大西 立顕
所属機関・部局・職	東京大学・大学院情報理工学系研究科・准教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果の評価に係る所見	
<p>本研究は、国民生活に関する時空間データを生活者と生活者が必要とする施設の数や距離を織り込むことでビッグデータとして構築し、そこから国民生活に関する様々な資料と指標を導き出したものである。この研究で構築されたデータや提案された指標は、人々の生活実態を把握し、生活基盤の持続可能性をより良く理解する際に有益である。また、住民の人口減少と高齢化という深刻な問題を抱える日本において、多様な分野の研究や政策策定に貢献するだけでなく、今後の国民生活を考える上での有用な基礎となりうる。ここで明らかにされ、提案された指標や資料が、今後、実際に自治体における住民生活実態の把握や政策形成に活用されていくことを期待したい。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い